

# 中学校 第3学年 社会科(公民) 学習指導案

東京都中野区立第二中学校  
教諭 古田 一博

**単元名** 第4章4節 金融のしくみと財政の役割(6時間)

**単元のねらい**

- 銀行を中心とする現代の金融機関のしくみやはたらきを理解する。
- 国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方自治体が果たしている役割や、租税の役割について考える。

**本時のねらい**

- 経済の成長と安定のしくみや、自分たちの生活との関連を理解する。
- 経済の安定のために、政府や日本銀行が行う経済政策について理解し、どのように行われるべきかを考える。(第6時) 教科書 p.164～165

**指導時期** 12月中旬

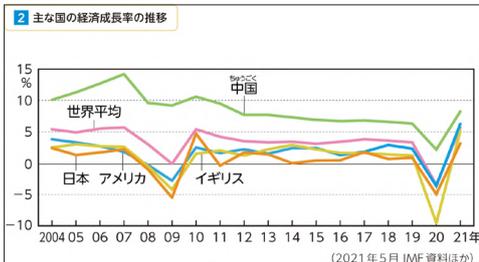
## 指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

本時では、p.159の「経済の安定化」で学習した景気循環の内容に加えて「インフレとデフレ」について学ぶが、資料3「景気の循環」から、理解を深めることができる。

また、本時では「経済政策が変動する景気に対し、いかに作用するか」理解する事がポイントである。経済の安定や成長等を目的として行う経済政策には、日本銀行による「金融政策」と、政府による「財政政策」がある。経済政策発動の背景にある経済状況や、市場への効果の波及について、整理しながら理解していく必要がある。いずれも、教科書の紙面に図解されているが、「指導者用デジタル教科書(教材)」を用いて、p.165資料5、6の動画視聴や、資料の項目を部分的に表示することで、経済政策の流れと効果について、一つずつ確認しながら学習を進めることができる。

特に、資料を理解することが難しい生徒に対しては、「指導者用デジタル教科書(教材)」の内容を電子黒板に拡大表示することで、わかりやすく解説できるように心がける。

## 本時(第6時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul> <p>【ア】 p.164資料2から、経済成長率が大きく落ち込んでいる箇所を確認する。</p> <p>【イ】 p.164資料2の経済成長率の推移の中で、大きな特徴が見られる箇所はどこだろうか？</p>	 <p>● p.164資料2を拡大表示で見せる。</p> 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p>【イ】 p.164のLOOKの内容と比較し、2008年（世界同時不況）と2020年（新型コロナウイルス感染症の世界的流行）が影響していることを確認する。</p> <p>【ウ】 p.164資料2のグラフの推移から、主な国の経済の変動は世界各国の情勢と連動している点にも着目させ、世界各国の景気循環が日本にも影響していることを確認させる。</p> <p>【エ】 景気循環は世界各国で同時に不況になったり好況になったりすることがあることを確認させる。</p> <p>【ト】 p.164資料1のように、不況になったとき、どのような経済政策が行われるか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● p.164のLOOKと、p.164資料2のグラフの変化を関連付けて不況の原因を捉える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>LOOK!</b></p> <p>2008年、アメリカの住宅価格の下落から始まった不況が世界中に広がり、世界同時不況を招きました(→p.258)。2020年頃には、新型コロナウイルス感染症の世界的流行(→p.259)で、製品の製造停止や輸出入の減少など深刻な影響が生じ、景気の悪化につながりました。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● p.164資料1を拡大表示で見せる。</li> </ul>  <p>(その際に、p164資料3を活用し、「好況」「不況」について図解することもできる。)</p>

	経済を安定させるために、どのような政策が行われているのだろう。									
展開	<p>【オ】 GDP (Gross Domestic Product) とは？ 経済成長…GDPが年々大きくなること。下のような資料を作成し、教科書の内容を図解しながら解説する。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">パン屋</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="background-color: #f4a460; color: white; text-align: center; vertical-align: middle;">パン 300円</td> <td style="background-color: #fff9c4; text-align: center;">付加価値 100円</td> <td>→賃金(人件費) →利潤、等</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #fff9c4; text-align: center;">原材料費 小麦粉 200円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f4a460; padding: 5px; display: inline-block;">付加価値</div> <div style="font-size: 2em; color: #f4a460; margin: 0 10px;">↓</div> <div style="text-align: center;">国内の経済全体の合計GDP</div> </div> </div> <p>【カ】 各国で経済成長が鈍ると、失業率はどのように変化するかを調べる。</p>	パン屋			パン 300円	付加価値 100円	→賃金(人件費) →利潤、等	原材料費 小麦粉 200円		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習者用端末を用いて、世界のGDP上位5か国を調べる。(「学習者用デジタル教科書+デジタル教材」がある場合、p.164資料2の「操作」コンテンツを活用することもできる。)</li> <li>● p.164資料2もしくは資料4の「操作」コンテンツを開き、左下の「関連」&gt;「並置」をクリックする。</li> </ul> 
パン屋										
パン 300円	付加価値 100円	→賃金(人件費) →利潤、等								
	原材料費 小麦粉 200円									

活動内容

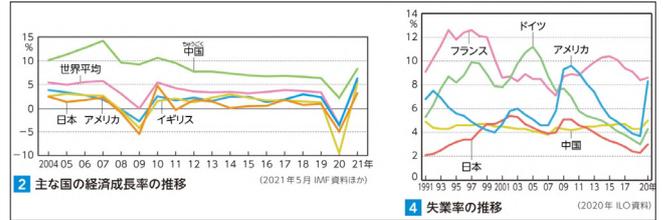
デジタル教科書・教材の活用

【キ】 下のような表を作成し、説明することで、p.165「経済政策の意味」に書かれている内容を整理する。

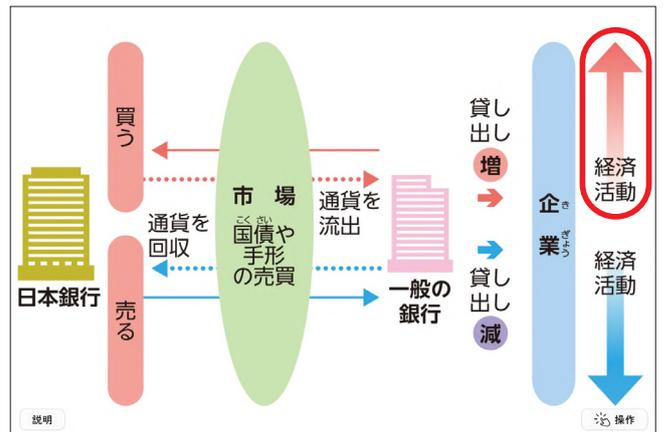
経済政策		
主体	日本銀行	政府
政策	金融政策	財政政策
手段	公開市場操作 預金準備率操作 など (金融市場調節)	公共事業 税の増減 など

【ク】 学習活動【エ】の不況になったとき、どのような経済政策が行われるか？という視点から、公開市場操作によって資料5の赤丸部分はどのようなサイクルが生まれるか、【ケ】の図から考える。

● p.164 資料2と資料4のグラフを並べ、不況の時に「失業率」がどのように変化しているかを観察する。



● p.165 資料5を拡大表示する。



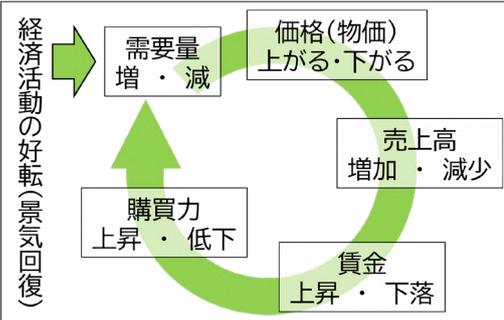
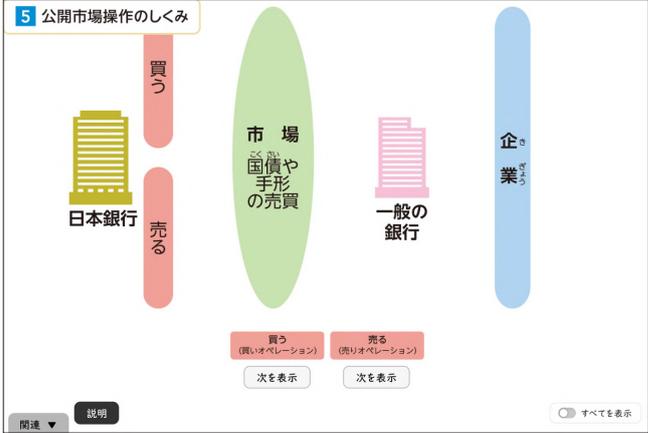
※「銀行貸出経路（銀行貸出チャンネル）」を通じた金融政策の波及経路の説明

● p.165 「公開市場操作（2：08）」の動画を再生する。



● 景気循環と公開市場操作（オペレーション）について確認する。

展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● p.165 資料6 を活用しながら、財政政策のしくみを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● p.165 「財政政策のしくみ (1:20)」 の動画を 00:50 から 30 秒間再生する。</li> </ul> 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不況の際にどのような流れで、市場への資金の供給量（マネタリーベース）を増やすのか再確認する。</li> </ul> <p>【ケ】 下のような図を作成する。各項目の二択を解答させ、p.165 資料5 から生まれる、金融政策の効果が波及するまでの流れをまとめる。</p>  <p>※図はデマンドプル・インフレの循環を表す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● p.165 資料5 の「操作」コンテンツを開き、「買う（買いオペレーション）」 &gt; 「次を表示」を押す。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀行を通じた企業や消費者への資金の貸出量増加によって、どのようにして景気回復につながっていくのか、左の図をベースにしながらまとめる。</li> </ul>

## 指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られる効果

- 導入：p.164 資料 1、2 を電子黒板に拡大表示し、クラス全体で観察し、資料 1 からは各国の平均株価、資料 2 からは経済成長率が世界で連動して下落している点について、気づきを共有してから、本時の展開に入っていくことができる。
- 展開：p.164 資料 2、4 を並置して電子黒板に拡大表示することで、経済成長率の低下と、失業率の上昇が反比例している点について、クラス全体で確認することができる。この際、グラフ相互の関連性について生徒が意見を共有することで、気づきの共有や、理解する事が難しい生徒のフォローが可能になる。
- 展開：動画視聴は、教科書の記載内容と合わせて確認していくことで、生徒の理解を深める事ができる。